

Blitzen Times

July.2025
Vol. 93



Race Report

- 6.22 全日本選手権自転車競技大会ロードレース
- 6.29 全日本選手権自転車競技大会タイムトライアル
- 7.05 Jプロツアー 山陽建設広島三原ロードレース
- 7.06 Jクリテリウムツアー 広島トヨタ広島クリテリウム

全日本選手権、 宇都宮ブリッツェン躍動

全日本選手権ロードレース、個人タイムトライアルで宇都宮ブリッツェンがチーム力を発揮。厳しい戦いの中、それぞれが全力を尽くし好成績を残した。

6月22日、日本サイクルスポーツセンターで開催された全日本選手権ロードレースエリート男子には122名が出走。宇都宮ブリッツェンは5人態勢で臨み、岡篤志をエース、谷順成・沢田時・武山晃輔・花田聖誠がチームを支えた。

3名に。その後追走集団に岡、谷、武山が加わるなど積極的な動きを見せた。中盤以降はUCI TEAM UKYOとブリッツェンが中心となり、最大4名を集団に残しチーム力の高さを印象付けた。

スタートから風速7mの強風が吹く中、序盤の逃げ集団形成を経てレースは緊迫した展開に。特に4周目に鎌田晃輝の単独アタックが決まり、逃げグループは

18周目に小林海が決定的なアタックを仕掛け、谷順成、山本元喜と先頭3名を形成。最終周目に小林の単独逃げ切りで2年連続優勝を遂げた。谷は4位、岡が5位で追走集団スプリントを制し、沢田も10位争いを

制した。武山は13位、花田はDNFとなったがその回復力は評価に値する。完走34名中、ブリッツェンが4名入り確かなチーム力を示した。

鈴木真理監督は「優勝のみを目標に臨んだが及ばず悔しい。終盤まで4枚残せたのは成果だが、エースに脚を温存させる動きの精度向上が今後の課題」とコメントした。岡は「力及ばず悔しい。谷にリザルトを狙ってはほしいと伝えたが、自分も勝ちたかった。来年に向けて練習を続ける」と決意を語る。



続く6月29日の個人タイムトライアルは渡良瀬遊水地で7・3キロ周回を6周する平坦基調の43・8キロコース。ブリッツェンから谷と岡が出走。台風の影響で灼熱のコンディションとなる中、岡が1周目から積極的なペースで53分29秒73をマークし暫定トップを奪取。しかし、直後に林原聖真が53分7秒21に更新。さらに後発の今村駿介が52分33秒81で優勝。

岡は5位でUCIポイントを獲得。谷は17位に食い込んだ。岡は「表彰台には届かなかったが、現時点で出せる力は発揮できた。準備期間は短かったものの、来年に向けて手応えをつかんだ」と振り返った。谷も「昨年DNFから復帰し、今季は過去最高の調子。今回の走りを糧にさらなるレベルアップを目指す」と力強く語っている。

ブリッツェンはロードレースとタイムトライアルで選手たちの成長を示しつつ、チャンピオンジャージ奪還には届かなかったが、チームとしての底力を確実に強化。ホームレースのジャパンカップに向けて、後半戦での飛躍を誓っている。



岡篤志が 広島クリテリウム制覇！

JBCF広島シリーズ2連戦で、岡篤志は三原ロードで2位、広島クリテリウムでは孫崎大樹との激戦を制して栄冠を獲得。猛暑の中、宇都宮ブリッツェンの活躍を振り返る。

7月5日、JBCF 2025 Jプロツアー第8戦「山陽建設広島三原ロードレース」が広島県中央森林公園にて開催。気温30度を超える猛暑の中、112名の選手たちが12時にレーススタートを迎えた。宇都宮ブリッツェンは谷順成、沢田時、岡篤志、武山晃輔、花田聖誠、阿藤来夢、秋元碧の7名の布陣で挑み、特に広島出身の谷は力強い意気込みを示していた。

レース序盤、地元ヴィクトワール広島と孫崎大樹が単独での逃げを展開したもの、追走集団は慎重な対応を続けた。やがて沢田とWard-Nippoldの今村を交えた3名の逃げ集団が形成され、武山も4周目の重要な逃げに加わって積極的に動く。ところが6周目、谷が落車によるリタイアを余儀なくされ、チームは大きな痛手を受けることになる。

レース後半、先頭集団は約15名に絞られ、「三段坂」の難所で勝負が激化。ヴィクトワールのベンジャミン・ダイボールとキナンレーシングチームの山本元喜が森に連続アタックを仕掛けたものの、群馬クリティンレーシングの金子宗平が単独で抜け出す展開に。岡は執拗に追撃し、ダイボールらの猛追を跳ね返ししながら金子の背中を追った。最終的に金子が優勝を決め、岡が2位、沢田が4位、武山も10位に入るなどチームの力強さを際立たせた。阿藤も完走を果たし、過酷な状況下での堅実さが光った。



翌7月6日に開催された「Jクリテリウムツアー第4戦広島トヨタ広島クリテリウム」は、雨上がりで滑りやすい路面が選手たちを試す短距離周回戦。ブリッツェンは岡を先頭に攻撃的に展開し、序盤から積極的に逃げを仕掛け、周回賞の奪い合いが続いた。岡は鋭いスプリント力とタフな粘り腰を見せ、孫崎大樹やチームメイト沢田との激しい競り合いを制す優勝を飾る結果となった。

勝利後の岡は、「ホーム戦2位の悔しい思いを、広島クリテリウムでリベンジを果たせてうれしく思っている。前日の雪辱を晴らすこともでき、チームの支えに感謝している」と素直な心境を語った。沢田も5位入賞を果たし、チームの連携の良さを改めて示す形となった。これにより、広島2連戦を終えた時点でチームはランキング首位を堅持している。

両レースのコースはアップダウンの連続するテクニカルなもの。厳しい猛暑の中、体力・戦略・チーム力が存分に問われる内容となった。地元チームのヴィク



トワール広島と繰り広げられた熱戦は、2025年Jプロツアーの白熱ぶりを象徴し、印象深い戦いとして記憶に残るに違いない。

宇都宮ブリッツェン ファンクラブ限定

ファン感謝祭

2025 8.10 (sun)
12:00~14:00

ザ・グランドスパ南大門 3階 宴会場

〒321-0966 栃木県宇都宮市今泉3丁目2-18

今からの入会でもOK!!

<https://www.blitzen.co.jp/fanclub/>



私たちは宇都宮ブリッツェンを応援しています。

Astemo

MERIDA
miyata

カンヤ

下野新聞社

Mitutoyo

NTT EAST

FOODLIER

TOYOTA WOODY HOME

ローラン

株式会社 ティーツーテクニカル

日成メディカル

ナカニシ

足利銀行

ORES

はめば
ゆかに
半輪

フクダヘルシー

HONDA

この街を走る幸せを、ともに
Honda Cars 栃木中央

闘魂

UDOKEN

NEX NIPPON EXPRESS

作新学院

栃木信用金庫

とちぎテレビ

仲田総業株式会社

GOKO human gki corporation

TCB観光

くにい矯正歯科

HINO

(株)松本建設

なちつとちつ

TOCHIGI SC

関東自動車

宇都宮食販

トヨタカラー栃木

SUBARU
栃木スバル自動車株式会社

SHIMANO

SOA

Dexerials

藤井産業

Continental Home
コンチネンタルホーム

たいしや

JJB JARBIS

茶商事株式会社

KODAIRA
ENTERPRISE

多気山不動産

MIZUHO みずほ証券

PÂTISSÈRE QUEEN 小くみん共済
coop

宇都宮塗料工業株式会社

ヤマト運輸

CDP
シニアセンター

BRISK

PARQUE

Quick

CRT ハワジング

日本茶業協会

KOKO 横尾製作所

Wellness

株式会社 ツカサ精密

mommyup

宇都宮中央法律事務所
UTSUNOMIYA CHUO ATTORNEYS AT LAW

栃木トヨペット

ROOTS SPORTS JAPAN
ROOTSスポーツ日本

波辺産業株式会社

株式会社 PRO
MUKAMÉ

宇都宮文化センター株式会社

Fuji Logicargo

大草鉄工建設

素材でにっこり
Sokan

PRTIMES

ISHIKAWA

住友生命

景観プランニング

税理士法人 あさひ

YUU YUU WORLD
株式会社 ユー・ユー・ワールド

日本生命

足利電機株式会社

天昇堂

ゆめクリニック
YUME CLINIC

HOTELIA

住友生命

税理士法人 児玉税経

あさひ

税理士法人 あさひ

YUU YUU WORLD
株式会社 ユー・ユー・ワールド

アトム建販株式会社

(有) 岸飯金工業所

OLEA

クレハ合繊

み陸

稲見通建株式会社

安斎重機サービス

Thank you for your support.

Blitzen 3